

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調査

様式1

No. 05010120

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	広域紋別病院企業団運営事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町(他西紋4市町村)		関係課	14 国保病院		
事業指標	西紋地区における二次医療機関の確保			#N/A		
事業目標	二次医療救急機関の運営確保		ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	二次医療機関である広域紋別病院の運営にあたる企業団の議会及び監査委員にかかる経費を西紋5市町村の按分に基づき負担する。	・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担
	事業費(千円)	6,945	1,389	1,389	1,389	1,389
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	6,945	1,389	1,389	1,389	1,389	
実績 事業費	事業費(千円)	4,468	1,011	1,131	1,339	987
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	4,468	1,011	1,131	1,339	987	
関連 事項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) ・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	(実施内容等) ・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	(実施内容等) ・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	(実施内容等) ・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担	(実施内容等) ・広域紋別病院企業団運営経費の負担 ・職員児童手当経費の負担
	※事務事業評価結果	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持
	前記計画からの継続(継続有り)	年度目標値	二次医療救急機関の確保	二次医療救急機関の確保	二次医療救急機関の確保	二次医療救急機関の確保
第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	73%	81%	96%	71%	0%
	全体達成率	15%	31%	50%	64%	64%
	備考欄					

事業名	広域紋別病院企業団運営事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係	河原 真由美

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	二次医療、二次救急を必要とする町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	二次医療、二次救急を必要とする疾病や事故に対する医療を日常生活圏域で受けることができる体制が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内医療機関では判断や治療ができない疾病や事故等に対し、適切な医療を受けることができる。	① 二次医療、救急機関の確保	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	日常生活圏域近隣で二次医療、二次救急を受けることができ、救命率の向上や高度障害を防ぐことができる。		目標値 1施設
			実績値 1施設
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成28年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	広域紋別病院企業団運営費の負担	企業団運営あたる西紋5市町村での按分に基づき、議会、監査経費及び職員児童手当の地方交付税導入分の経費負担	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	二次医療、救急医療期間の確保は西紋5市町村との連携の下、体制整備が必要である。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	広域紋別病院の開設、運営により西紋地区の二次医療、救急医療体制が強化できている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広域運営を行い、西紋地区5市町村で按分するなど、事業の効率化を計ることができている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	二次医療、救急医療体制の確保ができていること、眼科や皮膚科等の専門外来を必要とする場合は町民が広域紋別病院を利用することができる。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
本事業により、広域紋別病院の運営に寄与することができている。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
今後も二次医療、救急体制維持のために西紋5市町村での協議に合わせた運営体制の構築が必要である。		

- ※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了   休止   廃止